



【会社概要】

- ・ポークランドグループ
- (有)ポークランド(バイオランド)
- (有)十和田湖高原ファーム
- (有)ファームランド
- (有)小坂クリーンセンター
- (株)まんまランド
- (株)あぐりランド
- ・所在地：秋田県鹿角郡小坂町
- ・設 立：平成7年2月

グループ合計

母豚：6,200頭
出荷頭数：148,000頭/年

企業理念

ポークランドグループは、
新しい地方の時代を作り出すために、
「農業で幸せになろう」を合言葉に、
「常に一步先を」見据え、
「共存同栄」「身土不二」の精神で、
環境保全型の農業振興と、地域の活性化に取り組み、
地域の自然と農村文化を守り育てる担い手として、
「安全で安心な作り手の見える農業」を
創造していきます。

桃豚の生産コンセプト

私達は、お客様の健康に責任があるから、
顔の見える関係を築いていきたい。

事業の原点は、
「どうしたら売れるか」ではなく、
どうしたら
「喜んで買ってもらえるか」
である。

その商品の背景を売る
「物語をつくる」
販売する人が
売りやすい、引き出しの多い
「豚」を生産する

少し高くてもモノが違うから、
貴方のものしか食べたくない。

本物は安全で美味しい
オーガニック・動物福祉・環境景観保全・
生物多様性

生産者と消費者の
「絆」を大切にしていきたい

主な受賞

主な認証取得

- 平成12年 2月 食肉通信社主催 銘柄ポーク好感度コンテスト 優秀賞受賞
- 平成15年 5月 ISO14001認証取得
(農業分野秋田県初、養豚農場では全国2例目の取得)
- 平成16年 9月 全農安心システム認証取得
- 平成16年11月 生産情報公表豚肉のJAS規格を日本で初めて認証取得
- 平成17年 5月 (財)秋田県経済研究所 振興表彰受賞
- 平成17年 7月 毎日新聞主催 全国農業コンクール 名誉賞受賞
- 平成17年10月 総務省 ふるさと企業大賞受賞
- 平成18年 9月 食肉通信社主催 銘柄ポーク好感度コンテスト 優秀賞受賞
- 平成20年 7月 農商工連携88選 秋田県で唯一の選出
- 平成21年 2月 東北IT経営実践オピニオンリーダー賞を受賞
- 平成21年 2月 情報処理推進機構理事長賞を受賞
- 平成21年 3月 ハイ・サービス日本300選を受賞
- 平成22年 4月 食肉通信社主催 2010食肉産業展
銘柄ポーク好感度コンテストPrat9「お米で育てた桃豚」優秀賞受賞
- 平成23年 2月 フードアクションニッポンアワード2010の
プロダクト部門において優秀賞を受賞しました!
- 平成24年11月 ドイツ農業協会(DLG)主催 ハム・ソーセージコンテスト
あらびきソーセージ、ベーコンが金賞、ウインナーが銀賞、ピアシンケンが銅賞受賞
- 平成25年 2月 第18回環境保全型農業推進コンクール 大賞(農林水産大臣賞)受賞
- 平成25年 3月 ドイツ農業協会(DLG)主催 ハム・ソーセージコンテスト
ロースハムが金賞、ウインナー、ピアシンケン、ヤークトブルスト、ボンレスハムが銀賞
- 平成25年 6月 ポークランド、十和田湖高原ファーム、ファームランドが農場HACCPを認証取得
- 平成28年 5月 バイオランドが農場HACCPを認証取得し、全農場の認定が完了



▲平成23年7月 フードアクションニッポンアワード2010



▲ISO14001認証取得(平成15年5月)

消費者の皆様へ安全で美味しい桃豚をお届けするために…



HACCPとは?
食品の中に潜む危害要因を科学的に分析し、それが除去できる工程を常時管理し、記録する方法です。

- | | | |
|------------------|----------------|-------------|
| SMC(株) SMC-0003S | (有) ファームランド | |
| SMC(株) SMC-0004S | (有) 十和田湖高原ファーム | |
| SMC(株) SMC-0005S | (有) ポークランド | 平成25年5月認証取得 |
| SMC(株) SMC-0012S | バイオランド | 平成28年5月認証取得 |



2017年3月 香港輸出



2019年2月
農林水産大臣賞受賞

第2回飼料用米活用畜産物ブランド
日本一コンテスト



J-GAP

「アニマルウェルフェア」・「労働安全」・「人権と労務管理」
「施設、機械、設備、車両等の管理」等
豚への配慮の他にも社員への配慮も含めた総合的な認証

農場HACCP

生産段階における衛生管理や
あらゆる危害分析及び排除す
る術を考え実行

ISO14001

環境に配慮した
畜産業の仕組み

生産履歴公表JAS 全農安心システム

生産物の生産工程における
履歴の管理

J-GAPに取り組むまで

1998年 生協団体(パルシステム連合会)と産直締結
「公開確認会」⇒ 2者認証システムの体験
消費者の一言「工場みたいね」、「伝票改ざんしているんじゃないの？」



2003年 ISO14001を取得
「農業は、ここまで環境負荷をかけているのか!!」

2004年 生産履歴公表JAS豚肉認証・全農安心システム認証取得
2者認証から第3者認証へ

2006年 豚の放牧実験開始、室内型放牧(バイオベット飼育)開始
日本型畜産(アニマルウェルフェア)へ

2013年 農場HACCPを取得
農場衛生レベルの向上を目的に

2017年 J-GAP認証取得のためにキックオフ
東京オリパラの食材へ



J-GAP認証のキックオフ⇒認証取得までのスケジュール

平成29年 9月	キックオフ
~11月初旬	必須事項の洗出し、書類作成等
10月	J-GAPについての情報収集
11月7日~	運用開始
平成30年 2月	J-GAP指導員による講習会(地域振興局)
3月	運用に対する見直し及び改善 J-GAP指導員資格取得 J-GAP認証審査申請書提出
4月	認証審査

認証取得は、「桃豚」生産の背景(取組み)を可視化し、信頼できる農場として、消費者への客観的なアピールが可能になる。
労働安全向上のメリットがあり、「食の安全」・「環境保全型農業」・「作り手の見える農業」等、弊社企業理念を遂行していく上での指針となる。

「農場内の責任分担の明確化」

農場内での仕事の責任者が誰なのか、明確にする

「生産環境の確認と安全性の確認」

生産環境の安全性の確認と、従業員由来による、作業と施設の安全性の確認を行う。

「農場管理の作業手順(ルール)の作成」

手順を整理または新たに作り、農場内の仕事の標準化を図る

「作業手順(ルール)の周知徹底と従業員教育」

ルールの周知徹底を図り、または教育・訓練を通して、従業員が正確に作業遂行できるようにする。

「記録と検証と自己点検」

ルールに基づき仕事を遂行しているか確認し、農場の状態を自己審査。問題が発見されれば、農場自ら改善を行う。

J-GAP「良い農業の実践」と「農業で幸せになろう」

良い農業とは、社員・地域・環境・消費者が、
この地で共に栄え、幸せになる農業・「共存同栄」「身土不二」

「農業で幸せになる」ためにやっている事

- ・ 社員・・・安心して働ける職場作り(労働安全の確保・人権、福祉に配慮した労務管理)
- ・ 地域・・・「地域の自然と農村文化を守り育てる担い手として」
地域循環型農業の実践(飼料米30%・耕作放棄地の開墾と再利用)、雇用
- ・ 環境・・・環境保全型の農業振興(ISO14001)
- ・ 消費者・・・「安全で安心な作り手の見える農業」の実践
食品安全の確保、安心安全な豚の生産と安定した供給
- ・ 経営者・・・適切で信頼される農場運営(無駄の排除と利益の追求)



「なつかしい未来へ 先進的 原点回帰」

認証取得までの道のり

- ISOの取得時、畜産（養豚）での前例が無く、全てが1からのスタート。それを基礎として、各認証を順次取得した事により、J-GAPが求める内容において、苦勞する事はほとんど無かった。

* 認証取得で今回新たに検討したこと

- ① 企業としての労務管理や労働安全、人事管理などの部分の見直し
- ② 社員台帳の整備 全社員の資格等を再度把握必要な資格の取得
- ③ 労働環境

車両や重機を全てナンバー管理とし台帳を整備

車両・重機等の資格取得を2ヶ年に分け計画

- ④ 労働安全

過去の労働災害の再度見直し・改善

農場内外でのヒヤリ・ハットを作成、リスク評価を行い、事故防止に繋がった。

認証取得の効果

- 今まで常態化されていた「悪しき作業環境」を、現場審査において指摘される事により、問題意識の醸成・マンネリ化の打破・作業環境の改善につながった。
- 労働環境の整備や社員への教育等を行うことで、労働災害の減少につながり、企業としてのトータルのリスクは低減できている。
- 2006年から取り組んできた「アニマルウェルフェア(動物福祉)」も、社員の認識が統一されておらず、J-GAP取得の必須項目となった事で、改めてチェックリストを作成し、指標を基に定期的に記入し検討する事で、社員一人一人が「アニマルウェルフェア」対しての意識を強化することが出来た。

*取引先での評価(取引先から求められる前にやるべき事(生産者の義務))
「販売する人が、売りやすい、引き出しの多い「豚」を生産する」
「物語をつくる」「喜んで買ってもらえるか」が、「桃豚」のコンセプト

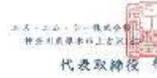
取引先が拡大する
(産直率90%以上)

JGAP認証書

ポークランド

秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1番地2
 認証品目・工程：豚（生体）、飼養工程
 認証登録番号：L050000002
 認証基準：JGAP農場用 管理点と適合基準 家畜・畜産物 2017
 審査基準：JGAPと農場HACCP認証基準との差分に関する文書 2017
 初回認証日：2018年5月10日
 有効期限：2019年5月30日
 上記農場がJGAP認証を取得したことを証します。

JGAP家畜・畜産物2017

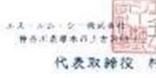


JGAP認証書

十和田湖高原ファーム

秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1番地1
 認証品目・工程：豚（生体）、飼養工程
 認証登録番号：L050000003
 認証基準：JGAP農場用 管理点と適合基準 家畜・畜産物 2017
 審査基準：JGAPと農場HACCP認証基準との差分に関する文書 2017
 初回認証日：2018年5月10日
 有効期限：2019年5月30日
 上記農場がJGAP認証を取得したことを証します。

JGAP家畜・畜産物2017

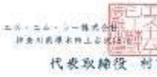


JGAP認証書

バイオランド

秋田県鹿角郡小坂町小坂字平2番地1
 認証品目・工程：豚（生体）、飼養工程
 認証登録番号：L050000005
 認証基準：JGAP農場用 管理点と適合基準 家畜・畜産物 2017
 審査基準：JGAPと農場HACCP認証基準との差分に関する文書 2017
 初回認証日：2018年5月10日
 有効期限：2019年5月1日
 上記農場がJGAP認証を取得したことを証します。

JGAP家畜・畜産物2017



JGAP認証書

ファームランド

秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1番地1
 認証品目・工程：豚（生体）、飼養工程
 認証登録番号：L050000004
 認証基準：JGAP農場用 管理点と適合基準 家畜・畜産物 2017
 審査基準：JGAPと農場HACCP認証基準との差分に関する文書 2017
 初回認証日：2018年5月10日
 有効期限：2019年5月30日
 上記農場がJGAP認証を取得したことを証します。

JGAP家畜・畜産物2017

